
リリカルなのは 次元を渡る被魔師

コロナ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

リリカルなのは 次元を渡る被魔師

【Nコード】

N0927Z

【作者名】

コロナ

【あらすじ】

いろいろな世界を渡り、悪魔を倒していく青年、波風タクトは新たな世界でその力を振るう。その世界は魔法の世界！？

プロローグ1

「これで…!」

青年が目の前にいる怪物に向かって青白い炎を纏った刀を振り下ろす

「ぐぎゃあああああああ!!」

切断面から青白い炎が吹き出て、怪物は消滅していった

青年は刀を鞘に収める

そして近くにある木にもたれながら座り込む

表情には疲れが見えていた

「疲れた…もう眠たい」

すると、先ほど収めた刀が宙に浮き光り始める

そして光が消えるとそこには、腰まで伸ばした透き通るような青い髪を上の方で一つにまとめて白い着物を着て瞳は輝くエメラルド色をした女性が立っていた

「なら、眠っても構いませんか？私が警戒しておくので」

女性は微笑みながらそう言う

「いいのか、雫？」

「タクト様はここまであまり休みがありませんでしたし、それに…」

雫と呼ばれる女性は顔を赤くしながらボソボソ呟き始める

タクトと呼ばれる青年は微笑みながら言う

「…ありがとうな。お言葉に甘えさせてもらっよ…」

「はい。では…」

「うん。お休み…」

そしてタクトは木によしかかりながら眠った
雫はタクトの顔をじっと見る

プロローグ1（後書き）

何となく書いてみました

感想よろしく！（・ω・）

プロローグ2

タクトが眠ったあと

雫はタクトの寝顔を顔を赤くしながら見ていた
若干鼻息も荒い

（タクト様、可愛い！やばいです、襲い掛かりたい！）

と、考えているに違いない

雫は眠っているタクトの顔に顔を近づける

そして零距离になるところで、不意に気配を感知して雫は後ろを振り返る

が、そこには人はいなかった

雫は気配があつた場所に歩き、その場に落ちていた紙を拾い、読み上げる

「『あなたたちにはこれより別世界に飛んでももらいます。その世界にいる少女たちを守り運命を変えてください。あと家と費用は問題ありません。その世界に着いたときにその少女たちの情報が家のリビングに置いてあります。では神より』……ハッ？」

雫は何がなんなのかわからずに素っ頓狂な声を上げる

「なんなんですかこれは？それに神って…とりあえずタクト様に話してみますか」

そう言つて雫はタクトのもとに歩いていくが、そこには体が光り始めていた

「タクト様!？」

雫は慌ててタクトに駆け寄る
が、雫の体も光り出して意識が遠のく

「タクト…さ…ま…」

そして雫の意識が闇に落ちていった

プロローグ2（後書き）

今回は短め

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0927z/>

リリカルなのは 次元を渡る祓魔師

2011年12月3日17時57分発行